

各高等学校長 殿  
各中等教育学校長 殿  
各社会科(地歴・公民科)主任 殿

神奈川県高等学校教科研究会  
会長 岡野 正之  
(神奈川県立相模原中等教育学校長)  
同 社会科部会  
部会長 藤元 貴嗣  
(神奈川県立川和高等学校長)  
理事長 高橋 俊介  
同 歴史分科会長 神田 基成  
(公印省略)

## 第63回 夏季県外史跡踏査のご案内

陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から当部会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の夏季県外史跡踏査を次のとおり実施いたします。踏査地の奈良県北部は、古代に平城京が置かれ、「国のまほろば」の呼び名にふさわしい丘や山に囲まれた実り豊かな土地で、聖武朝による天平文化が爛熟し、正倉院宝庫には聖武天皇・光明皇后ゆかりの美術工芸品や古代の一級史料で一万数千点に及ぶ「正倉院文書」が保存されました。また、中世には東大寺・興福寺などの大寺社が南都六宗の学問的伝統を維持し、更には広大な荘園を背景とした経済力により、中央政権や全国の守護大名・戦国大名にも影響力を持ちました。

本踏査は、長年にわたり現地で郷土史研究に携わる講師からその成果を学び、「高校生たちが自ら考え行動する力」を育む探究的な授業の方法について研修する機会として企画しております。つきましては、校務ご多忙の折まことに恐縮とは存じますが、貴校職員の参加に格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

- 期 日 **令和8(2026)年8月19日(水)**
- 集合・出発 近鉄郡山駅東出口 ※改札付近 午前10時00分(時間厳守)
- 踏 査 地 奈良県北部方面(大和郡山市・奈良市)
- テ ー マ 正倉院宝庫の真価と豊臣秀長の城と城下町の秘密～奈良時代の技術と社会実態を正倉院宝庫に、戦国から天下泰平への転換を大和郡山城と城下町に探究する～
- 講 師 佐々田 悠氏(宮内庁正倉院事務所・保存課整理室長)、成富 なつみ氏(柳沢文庫・学芸員)
- 参 加 費 3,000円(資料費、入館料など)  
\*参加費に現地まで・現地での交通費と昼食費は含まれていません。入館料については参加人数により別途徴収の可能性があります。
- 申 込 み A 定 員 20名(先着順で定員になり次第締め切ります)  
B 締 切 7月14日(火)  
C 申込先(問合わせ先) 事務局:神奈川県立麻生高等学校 齋藤 兆生  
〒215-0006 川崎市麻生区金程3-4-1  
TEL (044)966-7766(代表)  
D 申込方法 裏面参照の上、Eメール(二次元コード利用)にてお申し込みください。
- 当日連絡先 090-8465-0690(携帯)
- 踏査コース概略  
午前 10:00 近鉄郡山駅集合 → 柳沢文庫・大和郡山城(天守台・追手門・柳澤神社・郡山城情報館ほか)  
12:00頃～自由行動・各自昼食(大和郡山城下町・DMG MORI やまと郡山城ホール「大河ドラマ館」など)  
午後 14:30 近鉄奈良駅再集合 → 徒歩 → 15:00 宮内庁正倉院事務所(正倉院宝庫外観見学・収蔵史料等解説)  
→ 16:30 解散予定  
※コースは、交通・天候事情等により多少の変更もあります。予めご了承ください。
- 教科主任の先生へのごお願い  
お手数ですが、裏面の「ご案内・申込書」をコピーして、参加希望者へお配りいただきますようお願いいたします。他教科の方でも参加可能です。

## 第 63 回 夏季県外史跡踏査のご案内

奈良県北部方面（大和郡山市・奈良市）

# 正倉院宝庫の真価と豊臣秀長の城と城下町の秘密 ～奈良時代の技術と社会実態を正倉院宝庫に、戦国から天下泰平への 転換を大和郡山城と城下町に探究する～

2026年8月19日（水） 現地集合・現地解散

### 踏査コース

午前 10:00 近鉄郡山駅集合 → 柳沢文庫・大和郡山城（天守台・追手門・柳澤神社・郡山城情報館ほか）  
12:00 頃～自由行動・各自昼食（大和郡山城下町・DMG MORI やまと郡山城ホール「大河ドラマ館」など）  
午後 14:30 近鉄奈良駅集合 → 徒歩 → 15:00 正倉院事務所（正倉院宝庫外観見学・収蔵史料等解説） → 16:30 解散予定  
※コースは、交通・天候事情等により多少の変更もあります。予めご了承ください。

### 出発・解散

近鉄郡山駅東出口 ※改札付近 午前 10 時 00 分（時間厳守）  
※急行橿原神宮前行き（9 時 00 分京都駅発）が 9:51 近鉄郡山駅着です。  
宮内庁正倉院事務所 午後 4 時 30 分解散予定  
※特急京都行き（17 時 50 分近鉄奈良駅発）が 18 時 27 分京都駅着です。

### 参加費

3,000 円（資料費、入館料など）  
※参加費に現地までの交通費と食費は含まれていません。  
※入館料については、参加人数が少ない場合、別途徴収させていただきます。

### 講師

佐々田 悠 氏（宮内庁正倉院事務所・保存課整理室長）、成富 なつみ 氏（柳沢文庫・学芸員）

### 踏査地と内容

- 柳沢文庫・・・昭和 35 年(1960)に最後の郡山藩主柳沢保申の長男保承を中心に財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会が発足し、翌年秋に郡山城跡の毘沙門曲輪に地方史誌専門図書館として柳沢文庫が開設された。柳沢家から寄贈された歴代の書画や和歌・俳諧などの作品、公用日記である年録類をはじめとする古文書・古典籍のほか、奈良県内および柳沢家に関係する地域の自治体史や歴史・文学系を中心とした一般書を所蔵。
- 大和郡山城【国史跡】・・・天正 8 年(1580)に筒井順慶が築城し、豊臣秀長が大和・紀伊 120 万石の居城として入城した。その後、豊臣秀保、増田長盛、大久保長安、水野勝成、本多氏、松平氏と城主が変わり、享保 9 年(1724)に柳沢吉保の子吉里が甲府から入り、明治維新まで続いた。城の南西には天正 19 年(1591)に郡山で没した秀長の墓地である大納言塚がある。大和郡山城下町・・・天正 13 年(1585)秀長入城を機に城下町の整備が始まり、外堀内側の町が地子免除とされ、古来「内町十三町」と呼ばれた。天正 16 年(1588)「郡山惣町分日記」（春岳院文書）に、本町・魚塩町・堺町・柳町・今井町・綿町・藪町・奈良町・雑穀町・茶町・材木町・紺屋町・豆腐町・鍛冶屋町の 14 町が記され、享保年間(1716～36)では 27 町に発達している。
- 正倉院宝庫【世界遺産・国宝】・・・天平勝宝 8 年(756)頃、光明皇后が聖武天皇の愛用品を東大寺に奉納したことを機に建造された。校倉造の壁面が特徴で大きさは約 33m×約 9.3m、床下の柱高は約 2.5m。奈良時代の「正倉」の実態を伝える唯一の遺構として建築史的にもきわめて価値が高い。昭和 28 年(1953)に鉄筋コンクリート造の東宝庫が、昭和 36 年(1961)に同じく西宝庫が建造されて宝物の大部分が移され、宮内庁正倉院事務所の管理のもと保管・修理作業が行われている。正倉院文書・・・造東大寺司の下に置かれた東大寺写経所において作成された文書群が正倉院宝庫(中倉)に保管され、この写経所文書一万数千点が狭義の正倉院文書とされる。今日に残る奈良時代の古文書のほとんどを占めており、経文の紙背に記された戸籍など当時の社会を映し出す記録が、古代史研究にとって欠かさない級の史料群として注目されている。
- 東大寺【世界遺産】・・・8 世紀前半より聖武天皇が建立、天平勝宝 4 年(752)に開眼供養会が行われた廬舎那仏(奈良大仏)【国宝】を本尊とし、日本 60 余か国の国分寺の中心をなす「総国分寺」に位置付けられた。金堂(大仏殿)・南大門・開山堂・法華堂(三月堂)・二月堂・鐘楼など多くの国宝建築と仏像を擁する。

### 申込方法

右の二次元コードを読み取り必要事項をご入力の上、E メールをお送りください。  
二次元コードを利用されない場合は、下記 E メールアドレスへ、①名前(ふりがな)  
②性別・年齢③勤務校等④役職⑤連絡先(連絡の取りやすい電話番号)を入力し、  
件名を「夏季史跡申込」としてご送信ください。参加費は当日現地で集めます。  
後日 E メール・電話・FAX などで事務局より申込完了のお知らせをいたします。

### 申込先（問合せ先）

神奈川県立麻生高等学校 齋藤 兆生（事務局） 7/14(火) 締切  
E メールアドレス: saitou-p2y@pen-kanagawa.ed.jp TEL: (044)966-7766

### 諸注意

- ※受付完了の先着順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。
- ※参加費の領収書は当日お渡し致します。
- ※キャンセルにつきましては早めに上記申込先への連絡をお願いいたします。時期により費用負担をお願いする場合があります。

